

令和5年度 中学校教育課程

| 教科 | 1年 | 2年 | 3年 | 時間数 | 備考 |
|-----------|-------|----|----|--------|--------------------|
| 国語 | 5 | 4 | 4 | 13 | |
| 書写 | 1 | 1 | 1 | 3 | |
| 社会 | 3 | 4 | 4 | 11 | |
| 数学 | 6 | 4 | 5 | 15 | |
| 理科 | 3 | 4 | 4 | 11 | 2、3学年は土曜授業を含む |
| 音楽 | 1.29 | 1 | 1 | 3.29 | |
| 美術 | 1.29 | 1 | 1 | 3.29 | |
| 保健体育 | 2 | 2 | 2 | 6 | |
| 武道 | 1 | 1 | 1 | 3 | 2年次より柔道・剣道のいずれかを選択 |
| 技術家庭 | 2 | 2 | 1 | 5 | |
| 外国語(英語) | 7 | 5 | 5 | 17 | |
| 小計 | 32.58 | 29 | 29 | 90.58 | |
| 道徳 | 1 | 1 | 1 | 3 | |
| 特活(LHR) | 1 | 1 | 1 | 3 | |
| 総合的な学習の時間 | 2 | 2 | 2 | 6 | |
| 合計 | 36.58 | 33 | 33 | 102.58 | |

(注)

- ・ 授業時間は1時間を50分とする。
- ・ 音楽は「歌舞伎鑑賞教室」、「能楽鑑賞教室」等を含む。
- ・ 美術は「芸術鑑賞教室」等を含む。
- ・ 総合学習には「移動教室」、「文化祭」、「弁論大会」等を含む。
- ・ 第2、3学年の土曜日を「flexible Saturday」として柔軟な授業設定をし一定期間(3か月、前、後期)で学習計画を立てる。

令和5年度 中学校使用教科書

| 種目 | 発行者 | 教科書名 | 学年 | | |
|----|-----|---------------------|------|------|------|
| | | | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 国語 | 東書 | 新しい国語 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 書写 | 東書 | 新しい書写 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 地理 | 帝国 | 社会科 中学生の地理 | 第1学年 | | |
| 歴史 | 帝国 | 社会科 中学生の歴史 | | 第2学年 | |
| 公民 | 東書 | 新しい社会 公民 | | | 第3学年 |
| 地図 | 帝国 | 中学校社会科地図 | 第1学年 | | |
| 数学 | 啓林館 | 未来へひろがる数学 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 理科 | 啓林館 | 未来へひろがるサイエンス | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 音楽 | 教出 | 中学音楽 音楽のおくりもの 1 | 第1学年 | | |
| | 教出 | 中学音楽 音楽のおくりもの 2・3上下 | | 第2学年 | 第3学年 |
| 器楽 | 教出 | 中学器楽 音楽のおくりもの | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 美術 | 日文 | 美術1 美術との出会い | 第1学年 | | |
| | 日文 | 美術2・3上 学びの実感と広がり | | 第2学年 | 第3学年 |
| | 日文 | 美術2・3下 学びの探求と未来 | | 第2学年 | 第3学年 |
| 保体 | 大修館 | 最新 中学保健体育 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 技術 | 開隆堂 | 技術・家庭 技術分野 | 第1学年 | | 第3学年 |
| 家庭 | 開隆堂 | 技術・家庭 家庭分野 | | 第2学年 | 第3学年 |
| 英語 | 三省堂 | NEW CROWN | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 道徳 | 東書 | 新訂 新しい道徳 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |

| 教科 | 国語 | 科目 | 国語 | 授業 時数 | | 週5時間 | 教材 | 新しい国語(東京書籍) 論理エンジンOS1, 2 | 種別 | 中学 |
|---------------|--------------------------------|------------------------------------|----|----------|--|---|----|-----------------------------|----|----|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組、2組 | | | | | | | | | |
| 時期 | | 項目 | | | | 到達目標 | | | | |
| 前期 | 4月 | オリエンテーション 風の五線譜 | | | | 授業の説明、ノートの取り方の説明、図書館の利用方法。 詩の味わい方を理解する。 | | | | |
| | 5月 | 漢字検定対策 話し方はどうかな 根拠を挙げて考えを述べる | | | | 漢字能力検定試験の対策をする。 効果的な音読の仕方を理解する。 意見の述べ方を学習し、言道大会の準備をする。 | | | | |
| | 6月 | さんちき 論理エンジン 伊曾保物語 | | | | 主人公の成長と登場人物の関係性を読み取る。 論理エンジンで文構成を身につける。 古典に親しみ、伝統文化に関心を持つ。 | | | | |
| | 7月 | 第1回定期試験 | | | | | | | | |
| 夏 休 み | 漢字検定学習トレーニング 短歌、俳句 前期の復習 | | | | | | | | | |
| 前期 | 9月 | 詩の心—発見の喜び 月夜の浜辺 名付けられた葉 | | | | 詩を読解し、味わう。 | | | | |
| 後期 | 10月 | 少年の日の思い出 日本語検定対策 文法 | | | | 主人公の気持ちの変化と周囲の人物との関係性を読み取る。 日本語検定の対策をする。 分の組み立てを理解し、口語文法を身につける。 | | | | |
| | 11月 | トロツコ 竹取物語 | | | | 物語から少年の特徴を理解する。 古典に親しみ、物語を読解する。 | | | | |
| | 12月 | 第2回定期試験 | | | | | | | | |
| 冬 休 み | 論理エンジン | | | | | | | | | |
| 後期 | 1月 | ニュースの見方を考えよう そこに僕はいた | | | | 必要な情報を集めるための読み方を身につける。 ※授業内において「防災」に関する内容に触れる。 題名と作品のつながりに注目し、研究する。 | | | | |
| | 2月 | 矛盾 文法 | | | | 故事について理解する。 分の組み立てを理解し、口語文法を身につける。 | | | | |
| | 3月 | 第3回定期試験 | | | | | | | | |
| 春 休 み | 論理エンジン | | | | | | | | | |

備考

(1)特徴

- ・「論理エンジン」を使い言語と論理力を磨き国語力をあげる。
- ・「日本語能力検定」5級を受検することで論理力、コミュニケーション能力の確認をする。
- ・「日本漢字能力検定」5級を受験することで四字熟語などの基礎的な知識や丁寧な漢字の書き取りを確認する。

(2)使用教材

- ・教科書
- ・ノート(縦書き)
- ・国語便覧(資料集/3か年使用)
- ・漢検学習漢字トレーニング(漢字力養成/3か年使用)
- ・新しい国語 ワークブック(予習復習・家庭学習用ワークブック)
- ・学習漢字ノート(予習復習・家庭学習用)
- ・論理エンジン OS1(1～10)・OS2(11～20)
- ・論理エンジン 誌上講義 OS1・OS2(予習復習・家庭学習用)

(3)授業スタイル

- ・教科書4時間、論理エンジン1時間の週5時間

(4)論理エンジン シラバス

- ・4月～7月 論理エンジン 1～10
- ・9月～3月 論理エンジン 11～20

(5)試験

- ・第一回 試験範囲＝話し方はどうかな・さんちき・伊曾保物語・論理エンジン
- ・第二回 試験範囲＝詩・詩の心・小説一編(少年の日の思い出、トロッコ)・竹取物語・論理エンジン
- ・第三回 試験範囲＝ニュースの見方を考えよう・そこに僕はいた・矛盾・論理エンジン

※試験は基本的に、「小説」「説明文」「古典」「論理エンジン」の四項目からなる。

| 教科 | 国語 | 科目 | 書写 | 授業 時数 | 週 1 時間 | 教材 | 東京書籍 新しい書写 | 種別 | 中学 |
|---------------|-------------|---|----|----------|--|----|------------|----|----|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組 | | | | | | | | |
| | 時期 | 項目 | | | 到達目標 | | | | |
| 前期 | 4月 | 書写の学習について。 用具用材について。姿勢。用筆法。 基本的点画の練習。『大志』 防災に関する内容を扱う。 | | | 体験的学習活動を通じて日常生活に生かす。 毛筆と硬筆の違い。姿勢、筆記具の持ち方、点画の書き方と字形。 | | | | |
| | 5月 | 基本的点画の練習 楷書で書こう。2文字、4文字の熟語。 | | | 基本的用筆と表現方法。筆順の重要性、点画や文字の形の基本。全体と部分の整え方。 | | | | |
| | 6月 | 楷書の練習とまとめ。楷書に調和する仮名、表現と鑑賞。暑中見舞い。 | | | 筆順のきまりと点画のつながり、仮名とひらがな、字形を整える。文字の大小や配列・配置に気をつける。 | | | | |
| | 7月 | 楷書の練習とまとめ。 | | | 筆順のきまりと点画のつながり。字形を整える。文字の大小。 配列・配置。 | | | | |
| 夏 休 み | | 鑑賞 | | | 日常生活にある書を探求 | | | | |
| 前期 | 9月 | 行書の練習。2～4文字。漢字と仮名を調和させて書こう。 防災に関する内容を扱う。 | | | 行書の定義、基本的用筆と表現方法。脈絡の貫通、点画の変化。点画の連続と省略、平仮名の位置付け。仮名の成立。 | | | | |
| 後期 | 10月 | 漢字と仮名を調和させて書こう。2～4文字。 | | | 50音といろは歌の違い。 いろは歌の暗記。基本的筆使い。 基本線の反復練習。 | | | | |
| | 11月 | 漢字と仮名を調和させて書こう。2～6文字。 生活に活かす書。 | | | 基本線の反復練習。 変体仮名の理解。 いろは単体の反復練習。 | | | | |
| | 12月 | 漢字と仮名を調和させて書こう。 書き初めの練習。 第2回定期試験 | | | 漢字と仮名の大きさ。字形。行の中心。余白・字間・行間の取り方。用紙の大きさによる変化。 | | | | |
| 冬 休 み | | 書き初め | | | 宿題 | | | | |
| 後期 | 1月 | 校内書き初め展。 行書の特徴。脈絡の貫通。行書で書こう。 | | | 基本点画の反復練習。 筆脈の連続。 点画の省略。 | | | | |
| | 2月 | 硬筆の学習。行書で書こう。 | | | 基本点画の反復練習。筆脈の連続。 点画の連続、省略。 | | | | |
| 春 休 み | | | | | | | | | |

| 教科 | 社会 | 科目 | 社会(地理) | 授業 時数 | | 週3時間 | | 教材 | 中学生の地理 (帝国書院) | 種別 | 中学 |
|---------------|-------------|---|--|----------|--|------|--|----|------------------|----|----|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組 | | | | | | | | | | |
| 時期 | 項目 | | 到達目標 | | | | | | | | |
| 前期 | 4月 | 1部 世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿 | 地球のおおまかな姿を六大陸と三大洋やその範囲から捉えさせる。緯度・経度のしくみを理解させ、それらを用いて地球上の国や都市などの位置関係を理解させる。 | | | | | | | | |
| | 5月 | 第2章 世界各地の人々の生活と環境 | 世界各地の気候による暮らしの違いや、世界各地の文化を宗教の特徴も踏まえて理解する。 | | | | | | | | |
| | 6月 | 第3章 世界の諸地域 ①アジア州 | 各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握するとともに、各州の地域的特色を理解する。 アジア州についての関心を高めさせるとともに、アジアの自然環境のおおまかな様子を、季節風に着目させて捉えさせる。アジアの鉱工業の特色を、外国企業との関係や原油の生産に着目させて捉えさせる。 | | | | | | | | |
| | 7月 | 【第1回定期試験】 | 世界の姿をとらえよう～世界の諸地域(アジア州) | | | | | | | | |
| 夏休み | | 状況により夏の宿題 | | | | | | | | | |
| 前期 | 9月 | ②ヨーロッパ州 ③アフリカ州 | ヨーロッパ州についての関心を高めさせるとともに、日本と比べた緯度の高さに着目し、ヨーロッパの自然環境の様子を理解する。 アフリカ州についての関心を高めさせるとともに、アフリカの自然環境の様子を熱帯林や砂漠の広がりなどに着目し理解する。 | | | | | | | | |
| | 10月 | ④北アメリカ州 ⑤南アメリカ州 | 北アメリカ州についての関心を高めさせるとともに、北アメリカの多様な自然環境の様子を南北と東西の差に着目し理解する。 南アメリカ州についての関心を高めさせるとともに、南アメリカの多様な自然環境の様子を大河川や山脈の位置に着目し理解する。 | | | | | | | | |
| 後期 | 11月 | ⑥オセアニア州 | オセアニア州についての関心を高めさせるとともに、島々の広がりやオーストラリアの降水量に着目し、オセアニアの自然環境の様子を理解する。 | | | | | | | | |
| | 12月 | 2部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査 【第2回定期試験】 | 世界から見た日本の位置を、地図帳や地球儀を活用して調べ、緯度・経度や方位、日本の周りの大陸・海洋や国・地域との位置関係を理解する。 世界の諸地域(ヨーロッパ州)～日本の姿 | | | | | | | | |
| 冬休み | | 状況により冬の宿題 | | | | | | | | | |
| 後期 | 1月 | 第2章 日本の地域的特色 ・日本の様々な自然災害 | 世界の諸地域と比較した日本の自然環境・人口・資源、産業の特色を学ぶ。また、日本国内の地域差に関心を持たせる。日本で発生する自然災害は、地形や気候にどのような関係があるのか理解し防災意識を高める。 | | | | | | | | |
| | 2月 | 第3章 日本の諸地域 | 日本の7地方区分を復習するとともに、各地方の特色への関心を持たせる。日本の各地方の地図から、地方ごとの特色につながる情報を読み解く。 | | | | | | | | |
| | 3月 | 全体のまとめ 【第3回定期試験】 | 日本の地域的特色～日本の諸地域 | | | | | | | | |

| 教科 | 数学 | 科目 | 数学 | 授業 時数 | | 週6時間 | | 教材 | 啓林館 未来へひろがる数学1 | 種 別 | 中学 |
|---------------|-------------|---|---|----------|--|------|--|----|-------------------|--------|----|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組 | | | | | | | | | | |
| | 時期 | 項目 | 到達目標 | | | | | | | | |
| 前期 | 4・5月 | 1章 正の数・負の数 1. 正の数・負の数 2. 正の数・負の数の計算 3. 正の数・負の数の利用 | ア. 負の数の意味を理解し, 正の数・負の数の必要性和有用性を知る。 イ. 正の数・負の数の四則について理解し, それらの計算ができるようにする。 ウ. 四則計算の可能性について考察し, 数の概念の理解を深める。 | | | | | | | | |
| | 6月 | 試験(1章) | | | | | | | | | |
| | 6・7月 | 2章 文字の式 1. 文字を使った式 2. 文字式の計算 | ア. 文字を使って, 数量や数量の関係などを式に表し, 文字の必要性和意味を理解する。 イ. 文字を使った式の表し方を理解し, それに基づいて式に表したり, 表された式の意味を読み取ったり, 文字に値を代入して式の値を求めたりして, 文字の式の理解を深める。 ウ. 簡単な式の加法と減法, 乗法, 除法の計算ができるようにする。 エ. 数量の関係を等式や不等式に表せるようにする。 | | | | | | | | |
| | | 3章 方程式 1. 方程式 2. 方程式の利用 | ア. 方程式とその解の意味について理解する。 イ. 等式の性質を見だし, それを利用して式を変形することで, 方程式が解けることを知る。 | | | | | | | | |
| | 7月 | 第1回定期試験(2・3章) | | | | | | | | | |
| 夏 休 み | 7・8月 | 夏 期 課 題 | | | | | | | | | |
| 前期 | 9月 | ◎ 防災学習 | 数学を通して防災について学ぶ。 | | | | | | | | |
| | | 3章 方程式 1. 方程式 2. 方程式の利用 | ウ. 一元一次方程式を理解し, その解法に習熟する。 エ. 比例式を解くことができるようにする。 オ. 方程式を問題解決に利用できるようにする。 | | | | | | | | |
| 後期 | 9・10月 | 4章 変化と対応 1. 関数 2. 比例 3. 反比例 4. 比例, 反比例の利用 | ア. 関数の意味を理解する。 イ. 具体的な事象の考察を通して, 比例, 反比例の意味を理解する。 ウ. 座標の意味を理解する。 エ. 比例, 反比例を表, 式, グラフなどで表し, それらの特徴を理解する。 オ. 比例, 反比例の見方や考え方を, 具体的な事象の考察に利用できるようにする。 | | | | | | | | |
| | 10月 | 試験(3・4章) | | | | | | | | | |
| | 11・12月 | 5章 平面図形 1. 直線図形と移動 2. 基本の作図 3. 円とおうぎ形 | ア. 直線, 線分, 角の意味や表し方を理解するとともに, 垂直, 平行などについて理解する。 イ. 図形の移動の意味と, その性質について理解する。 ウ. 基本的な作図のしかたについて理解し, それを利用することができるようにする。 エ. 円やおうぎ形についての基本的な用語の意味を知り, その表し方を理解するとともに, おうぎ形の中心角と弧の長さ, 中心角と面積の関係について理解する。 オ. おうぎ形の弧の長さや面積を求められるようにする。 | | | | | | | | |
| | 12月 | 第2回定期試験(4・5章) | | | | | | | | | |
| 冬 休 み | 12・1月 | 冬 期 課 題 | | | | | | | | | |
| 後期 | 1・2月 | 6章 空間図形 1. 立体と空間図形 2. 立体の表面積と体積 | ア. 立体や見取図, 展開図, 投影図についての観察, 操作, 実験を通して, 立体についての理解を深める。 イ. 立体を観察することなどを通して, 空間における平面や直線の位置関係を理解する。 ウ. 平面図形や直線が動いたときにできる立体とその性質について理解する。 エ. 柱体の表面積, 錐体や球の表面積や体積とその求め方について理解する。 | | | | | | | | |
| | 2・3月 | 7章 資料の活用 1. ヒストグラムと相対度数 2. データにもとづく確率 | ア. ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解する。 イ. ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明することができるようにする。 ウ. 資料を活用し, 自分の考えを伝えるとともに, 他の生徒の意見をもとに, 振り返って考えることができるようにする。 エ. 誤差や近似値について理解し, 必要な場面でこれらを適切に扱うことができるようにする。 | | | | | | | | |
| | 3月 | 第3回定期試験(6・7章) | | | | | | | | | |
| 春 休 み | 3月 | 春 期 課 題 | | | | | | | | | |

| 教科 | 理科 | 科目 | 理科 | 授業 時数 | 週4時間 | 教材 | 未来へひろがるサイエンス1 (啓林館) | 種別 | 中学 |
|---------------|-------------------|--|----|----------|---|----|------------------------|----|----|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組、2組 | | | | | | | | |
| | 時期 | 項目 | | | 到達目標 | | | | |
| 前期 | 4月 | 身のまわりの生物の観察 生命:いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 | | | 身の周りの生物の観察、スケッチから、今後の学習に興味を持つ。顕微鏡の取り扱いを理解する。 植物のつくりと働きを理解し、分類方法を知る。 | | | | |
| | 5月 | 2章 動物の特徴と分類 | | | 動物の体の特徴を理解し、分類方法を知る。 | | | | |
| | 6月 | 地球:活きている地球 1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 ※地震に関する防災の授業を行う 3章 火をふく大地 4章 語る大地 | | | 身近な大地の変化を知る。 地震災害から、地震のメカニズムについて理解する。 火山噴出物から火山の特徴を知る。 堆積岩の形成について学習し、堆積岩のつくり、特徴を知る。また、地層内の岩石、化石から、過去のできごとを推測する力をつける。 | | | | |
| | 7月 | 第1回定期試験 | | | 生命:いろいろな生物とその共通点 地球:活きている地球 | | | | |
| 夏 休 み | | 宿題 | | | | | | | |
| 前期 | 9月 | 物質:身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 | | | 物質特有の性質、異なる物質間で共通の性質を理解する。 気体として存在する物質の特徴を知る。 | | | | |
| | 10月 11月 12月 | 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化 エネルギー:光・音・力による現象 1章 光による現象 | | | 水溶液の種類とその性質を理解する。 物質の状態変化とその条件を理解し、どのように応用されているのかを理解する。 生活内の現象などから、光の学習につながるものを考え、光の進行、屈折の規則性を学ぶ。 | | | | |
| | | 第2回定期試験 | | | 物質:身のまわりの物質 | | | | |
| 冬 休 み | | 宿題 | | | | | | | |
| 後期 | 1月 | 2章 音による現象 | | | 音の性質を、発音体を用いて理解する。 | | | | |
| | 2月 | 3章 力による現象 | | | 力によって物体が変形したり、運動の様子が変化する事を知る。 | | | | |
| | 3月 | 第3回定期試験 | | | エネルギー:光・音・力による現象 | | | | |
| 春 休 み | | | | | ※各時期に、必要に応じて実験、実習をおこなっていく。 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|--|----|----|----------|--|----|--|----|----|
| 教科 | 音楽 | 科目 | 音楽 | 授業 時数 | 週1時間 | 教材 | 音楽のおくりもの 中学音楽1 (教育出版) 音楽の基本ワーク 1年 (新学社) | 種別 | 中学 |
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組、2組 | | | | | | | | |
| 時期 | 項目 | | | | 到達目標 | | | | |
| 第1週 ～ 第3週 | オリエンテーション 歌唱「館歌」 歌唱「夢の世界を」 楽典Ⅰ「音部記号,拍子記号,音名」 楽典Ⅱ「音符と休符,反復記号」 | | | | 国士館生として、館歌について深く理解しながら歌唱する。 拍子によって、響きのある声で歌唱する。 音楽の基礎知識を身につける。 | | | | |
| 第4週 ～ 第6週 | 歌唱「花」 楽典Ⅲ「変化記号,異名同音,音階」 オーケストラを知ろう | | | | 歌い継がれた日本の歌を、言葉を大切に歌唱する。 音楽の基礎知識を身につける。 楽器の分類や特徴を理解し、響きの関わりを感じ取る。 | | | | |
| 第7週 ～ 第9週 | 合唱「unlimited」 音楽史 鑑賞「春 第1楽章」 実技試験 | | | | 合唱の響きに慣れ親しむ。 音楽の歴史と、代表的な作曲家、作品を知る。 曲想の変化や形式、構成を理解して鑑賞する。 | | | | |
| 第10週 ～ 第14週 | 合唱 指揮法 鑑賞「魔王」 災害時における音のはたらき 発表・実技試験 | | | | 自分のパートの役割を理解して歌唱する。 音楽の表現方法を学ぶ。 独唱について理解し、物語と曲想の関わりを感じ取る。 防災と音の関わりについて学ぶ。 | | | | |
| 備考 | 前期 1組:美術 2組:音楽 後期 1組:音楽 2組:美術 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---------------|-------------|-------------------------|----|----------|--|----|------------|----|----|
| 教科 | 美術 | 科目 | 美術 | 授業 時数 | 週2時間 | 教材 | 美術(光村図書出版) | 種別 | 中学 |
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組 | | | | | | | | |
| | 時期 | 項目 | | | 到達目標 | | | | |
| 前期 | 4月 | 色彩について 防災とピクトグラムについて | | | 色の三属性や色彩心理を理解する。 防災や危機管理におけるピクトグラムを使ったコミュニケーションと安全色彩について学ぶ。 | | | | |
| | 5月～6月 | 白彫板によるレリーフ制作 | | | 5種類の彫刻刀を状況に合わせて使い分け、思い描いたイメージに近づけることができるようになる。 | | | | |
| | 7月 | 第1回定期試験 | | | | | | | |
| 夏 休 み | | 美術館見学 | | | 夏休み明けにレポート提出。 | | | | |
| 前期 | 9月 | 時計のデザイン | | | 著名な作家の作品をモチーフに砂絵で表現する。 | | | | |
| | 10月 | 鉛筆で描く | | | デッサンの基礎を学ぶ。 | | | | |
| 後 期 | 10月 | 色彩について 防災とピクトグラムについて | | | 色の三属性や色彩心理を理解する。 防災や危機管理におけるピクトグラムを使ったコミュニケーションと安全色彩について学ぶ。 | | | | |
| | 11月～12月 | 白彫板によるレリーフ制作 | | | 5種類の彫刻刀を状況に合わせて使い分け、思い描いたイメージに近づけることができるようになる。 | | | | |
| 冬 休 み | | 美術館見学 | | | 冬休み明けにレポート提出 | | | | |
| 後 期 | 1月～2月上旬 | 時計のデザイン | | | 著名な作家の作品をモチーフに砂絵で表現する。 | | | | |
| | 2月下旬 | 鉛筆で描く | | | デッサンの基礎を学ぶ。 | | | | |
| | | 第3回定期試験 | | | | | | | |
| 備 考 | | 前期 1組:美術 2組:音楽 | | | 後期 1組:音楽 2組:美術 | | | | |

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育 | 授業 時数 | 週2時間 | 教材 | 最新中学校保健体育(大修館書店) ステップアップ中学体育(大修館書店) | 種 別 | 中学 |
|---------------|-----------------|--|---|----------|------|----|--|--------|----|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組(男子) | | | | | | | | |
| 時期 | 項目 | | 到達目標 | | | | | | |
| 前 期 | 4週 | 【ガイダンス】 【集団行動】 挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束ごと」を理解させる。 | 【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。 | | | | | | |
| | 3週 | 【ダンス】 1) 基本的運動 ・歩く、回る、止まる、走る、跳ぶなどの基本的な運動の習得。 2) モチーフ作り ・伸びる、縮むなどの動きを合わせ、1群で同方向、2～3群で方向、時間を変える。 3) 動作の連続 ・フレーズ作りと変化・発展的な動きを生かし、少人数による作品作り。 4) 試験 【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ | グループごとに題材のイメージにふさわしい動きを表現できることと、表現力豊かに気持ちを込めて踊ることができるようにする。 体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。 | | | | | | |
| 夏休み | | レポート課題 | | | | | | | |
| 後 期 | 3週 | 【マット運動・跳び箱】 1) マット ① 基本的技能 ・前転、開脚前転 ・後転、開脚後転 ② 発展的 skill ・倒立 ・側転 2) 跳び箱 ・開脚跳び ・閉脚跳び 3) 試験 | 技ができる楽しみや喜びを味わい、基本的な技や発展技をできるようにしたり、自分に適した技を組み合わせることで演技ができるようにする。 跳び方や姿勢の変化、跳び箱の高さに対応し、安定した着地ができるようにする。 | | | | | | |
| | 4週 | 【バスケットボール】 1) 基本的技能 ・各種のパス ・移動しながらのパス(三角パス、四角パス) ・各種のシュート(ドリブルシュート、ランニングシュート) 2) 集団的 skill ・2対1、3対2の攻防、5対5の攻防 | ドリブル、パス、シュートなど基本的な技術を身に付け、集団の中で発揮できるようにする。 | | | | | | |
| | 2週 | 【保健】 保健① 調和のとれた生活 1. 健康の成り立ち 2. 運動と健康 3. 食事と健康 4. 休養と睡眠 <最後の1時間で授業内試験を実施> | 健康の成り立ちについて理解する。 健康や病気を左右する主体と環境の要因について理解する。 運動により体の機能が発達し、心身の健康が向上することについて理解する。 運動の必要性と適切な運動量の確保について、自分の生活と関連づけて理解する。 食事の役割、栄養素やエネルギーの過不足と健康問題について理解する。 健康的な食習慣の在り方について、自分の生活と関連づけて理解する。 疲労のあらわれ方や疲労がもたらす健康問題について理解する。 休養・睡眠を含めた調和のとれた生活が健康を保つことについて、自分の生活と関連づけ理解する。 | | | | | | |
| | 3週 | 【走り高跳び】 1) 踏み切り動作、跳躍力、踏み切り 2) 空中動作(ペリーロール) 3) 助走～踏み切り～空中姿勢～着地(スムーズな一連の動きとリズム) 4) 試験 | 助走を生かした踏み切りや、バーを越える技能を高め、ペリーロールの跳躍方法を習得し、助走を生かした踏み切りや、バーを越える技能を高め、自分の記録に挑戦したり、競争しあって記録を高める。 | | | | | | |
| | 2週 | 【保健】 保健② 心身の発達と心の健康 1. 体の発育・発達 2. 呼吸器・循環器の発育・発達 3. 生殖にかかわる働き成熟(1) 4. 生殖にかかわる働き成熟(2) <最後の1時間で授業内試験を実施> | 発育急進期は2度あること、2度目の発育急進期は思春期にあたることについて、理解する。体の器官別にみた発育・発達の特徴について、自分の生活と関連づけて理解する。 呼吸器・循環器の働きとその発育・発達の特徴について理解する。 呼吸器・循環器の発達と運動との関係について、自分の生活と関連づけて理解する。 ホルモンの働きと思春期の体の変化の特徴について理解する。 思春期における女子の生殖機能の発達の特徴、および排卵と月経のしくみや個人差について理解する。 思春期における男子の生殖器の発育・発達の特徴について理解する。 受精と妊娠のしくみ、思春期の性にまつわる悩みや個人差について理解する。 | | | | | | |

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育 | 授業 時数 | 週2時間 | 教材 | 新中学保健体育(学研) ステップアップ中学体育 (大修館書店) | 種 別 | 中学 | |
|---------------|-----------------|--|----|----------|---|----|---------------------------------------|--------|----|--|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組(女子) | | | | | | | | | |
| 時期 | 項目 | | | | 到達目標 | | | | | |
| 前 期 | 4週 | 【ガイダンス】 【集団行動】 挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束 こと」を理解させる。 | | | 【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る 行動に役立てる。 | | | | | |
| | 3週 | 【ダンス】 1) 基本的運動 ・歩く、回る、止まる、走る、跳ぶなどの基本的な運動の習得。 2) モチーフ作り ・伸びる、縮むなどの動きを合わせ、1群で同方向、2~3群で方向、時間を変 える。 3) 動作の連続 ・フレーズ作りと変化・発展的な動きを生かし、少人数による作品作り。 4) 試験 【体づくり運動】 ＜新体力テスト＞ 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトル ラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ | | | 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。 グループごとに題材のイメージにふさわしい動きを表現できることと、表 現力豊かに気持ちを込めて踊ることができるようにする。 体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析し て、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親し み、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。 | | | | | |
| 夏休み | | レポート課題 | | | | | | | | |
| 後 期 | 2週 | 【バレーボール】 1) 基本的技能 ・パス(1対1、円陣パス) ・サーブ 2) 集団的技能 ・三段攻撃 ・サーブレシーブ 3) ゲーム | | | 基礎的な技能を身につけ、サーブをレシーブし、トスの技術を習得し3 回で相手コートに返球できるようにする。また、その攻防での防御の技 能を身につけ、ゲームができるようにする。 | | | | | |
| | 3週 | 【跳び箱】 1) 跳び箱 ・開脚跳び・閉脚跳び 2) 試験 | | | 跳び方や姿勢の変化、跳び箱の高さに対応し、安定した着地ができる ようにする。 | | | | | |
| | 2週 | 【ハードル走】 1) ハードリング(振り上げ足、抜き足) 2) インターバル走(リズム) 3) 試験 | | | インターバルの技術を身につけたり、ハードリングの技能を高めなが ら、自分の記録に挑戦したり競争し合って記録を高める。 | | | | | |
| | 2週 | 【保健】 保健① 調和のとれた生活 1. 健康の成り立ち 2. 運動と健康 3. 食事と健康 4. 休養と睡眠 ＜最後の1時間で授業内試験を実施＞ | | | 健康の成り立ちについて理解する。 健康や病気を左右する主体と環境の要因について理解する。 運動により体の機能が発達し、心身の健康が向上することについて理解する。 運動の必要性と適切な運動量の確保について、自分の生活と関連づけて理解する。 食事の役割、栄養素やエネルギーの過不足と健康問題について理解する。 健康的な食習慣の在り方について、自分の生活と関連づけて理解する。 疲労のあらわれ方や疲労がもたらす健康問題について理解する。 休養・睡眠を含めた調和のとれた生活が健康を保つことについて、自分の生活と関 連づけ理解する。 | | | | | |
| | 3週 | 【ソフトボール】 1) 守備の基本的技能 ・キャッチボール(送球と捕球) ・キャッチング(ゴロ、フライ) ・ピッチング 2) 攻撃の基本的技能 ・バッティング(トスバッティング、ティーバッティング) 3) ミニゲーム | | | 投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的技能を身に付け、ゲームができ るようにする。 | | | | | |
| | 2週 | 【保健】 保健② 心身の発達と心の健康 1. 体の発育・発達 2. 呼吸器・循環器の発育・発達 3. 生殖にかかわる働き成熟(1) 4. 生殖にかかわる働き成熟(2) ＜最後の1時間で授業内試験を実施＞ | | | 発育急進期は2度あること、2度目の発育急進期は思春期にあたることについて、理解する。 体の器官別にみた発育・発達の特徴について、自分の生活と関連づけて理解する。 呼吸器・循環器の働きとその発育・発達の特徴について理解する。 呼吸器・循環器の発達と運動との関係について、自分の生活と関連づけて理解する。 ホルモンの働きと思春期の体の変化の特徴について理解する。 思春期における女子の生殖機能の発達の特徴、および排卵と月経のしくみや個人差について理解 する。 思春期における男子の生殖器の発育・発達の特徴について理解する。 受精と妊娠のしくみ、思春期の性にまつわる悩みや個人差について理解する。 | | | | | |

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 武道(柔道) | 授業 時数 | | 週1時間 | | 教材 | | 種別 | 中学 |
|---------------|-------------|--|--------|----------|--|--|--|----|--|----|----|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組 | | | | | | | | | | |
| 時期 | | 項目 | | | | 到達目標 | | | | | |
| 前期 | 4月 | 授業内容、指導方法についての説明 礼法、正座の正しい方法 | | | | 柔道の歴史や精神を学ぶと共に、武道の特徴である礼に始まり礼に終わるなど礼節を重んじる伝統的な行動の仕方に留意して、礼儀正しくお互いに相手を尊重する心を養う。 柔道の話の中から日常生活に結びつけて話し、日頃の生活態度を身につける。 剣道の話の中から日常生活に結びつけて話し、日頃の生活態度を身につける。 礼法—立礼・座礼 正しく行われているかを評価する。 | | | | | |
| | 5月 | 柔道の授業内容 | | | | | | | | | |
| | 6月 | 剣道の授業内容 | | | | | | | | | |
| | 7月 | 試験 | | | | | | | | | |
| 夏休み | | | | | | | | | | | |
| 前期 | 9月 | * 13週目～31週目を2等分して、 13週～21週に1組は柔道2組は剣道 22週～31週に1組は剣道2組は柔道 | | | | | | | | | |
| 後期 | 9月 | 災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 柔道の基本 | | | | 安全な経路の確認、自助について学ぶ | | | | | |
| | 10月 | 礼法・歴史・特徴 | | | | 礼法を習慣づける。 | | | | | |
| | 11月 | 受け身 (1)後ろ受け身 (2)横受け身 (3)前受け身 (4)前回り受け身 試験 | | | | (道場の出入り、授業中の立礼、座礼)受け身の重要性を理解し正しく出来るようにする。 前回り受け身に一番大切な基本が折り込まれていることを理解させる。(後頭部を打たない) | | | | | |
| | 12月 | 復習 | | | | 礼法・受け身(後・横・前・前回り) 正しく行われているかを評価する。 | | | | | |
| 冬休み | | | | | | | | | | | |
| 後期 | 1月 | 柔道の基本 | | | | 礼法を習慣づける。 (道場の出入り、授業中の立礼、座礼)受け身の重要性を理解し正しく出来るようにする。 前回り受け身に一番大切な基本が折り込まれていることを理解させる。(後頭部を打たない) | | | | | |
| | 2月 | 礼法・歴史・特徴 | | | | | | | | | |
| | 3月 | 受け身 (1)後ろ受け身 (2)横受け身 (3)前受け身 (4)前回り受け身 試験 | | | | | | | | | |
| 春休み | | | | | | | | | | | |

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 武道(剣道) | 授業 時数 | | 週1時間 | | 教材 | | 種別 | 中学 |
|---------------|-------------|--|---|----------|--|------|--|----|--|----|----|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組 | | | | | | | | | | |
| 時期 | 項目 | | 到達目標 | | | | | | | | |
| 前期 | 4月 | 授業内容、指導方法についての説明 礼法・正座の正しい方法 | 《ガイダンス》 (柔道、剣道合同) 剣道の歴史や精神を学ぶとともに、武道の特性である礼に始まり礼に終わるなど礼節を重んじる伝統的な行動の仕方に留意して、礼儀正しくお互いに相手を尊重する心を養う。 | | | | | | | | |
| | 5月 | 柔道の授業内容 | 柔道の話の中から日常生活に結びつけて話、日ごろの生活態度を身に着ける。 | | | | | | | | |
| | 6月 | 剣道の授業内容 | 剣道の話の中から日常生活に結びつけて話、日ごろの生活態度を身に着ける。 | | | | | | | | |
| | 7月 | 試験 | 礼法 | | | | | | | | |
| 夏休み | | | | | | | | | | | |
| 前期 | 9月 | * 13週目～31週目を2等分して、 13週～21週に1組は柔道2組は剣道 22週～31週に1組は剣道2組は柔道 | | | | | | | | | |
| 後期 | 9月・12月 | 災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 礼法 | 安全な経路の確認、自助について学ぶ 礼法を習慣づける。 | | | | | | | | |
| | 10月・1月 | 足捌き | 送り足…(前後左右)足の使い方から基本動作を身につける。 | | | | | | | | |
| | 11月・2月 | 竹刀の名称と注意 | 竹刀の名称を覚えるとともに竹刀の危険性と刀として、大切に扱うことから、物に対しての心構えを覚える。 | | | | | | | | |
| | 3月 | 構え 試験 | 構え…正しい姿勢・正しい竹刀の握り方を覚える。 足捌き | | | | | | | | |

| 教科 | 技術家庭 | 科目 | 技術家庭 (技術分野) | 授業 時数 | 週2時間 | 教材 | 開隆堂 技術・家庭 (技術分野) | 種別 | 中学 |
|---------------|------------------------------|--|----------------|----------|------|--|---------------------|----|----|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組 | | | | | | | | |
| | 時期 | 項目 | | | | 到達目標 | | | |
| 前期 | 4 5 6 7 | ガイダンス 1: 技術の役割 2: 技術の見方・考え方 3: 技術と生活・産業 4: 技術とエネルギー・環境 5: 受け継がれ発展する技術 A. 材料と加工の技術 1-1 生活や社会と材料と加工の技術 1-2 材料を利用するための技術 2-1 製作のための技術 2-2 これからの材料と加工の技術 第1回定期試験 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 技術分野における3年間の学習で扱う4つの内容を知る。 技術分野の授業では、「知識や技能を身につける」「問題から課題を考え、ものを作ることで課題を解決する」「学習したことを社会に生かす」の順番で学習することを理解する。 材料によって性質が異なることに気付く。 ものづくりには、様々な工夫や技術、科学的な原理・法則があることを知る。 技術の役割～材料と加工 | | | |
| 夏休み | | | | | | | | | |
| 前期 | 9 | B. 生物育成の技術 1-1 生活や社会と生物育成の技術 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 作物の栽培、動物の飼育、森林の育成、水産生物の栽培が、人間の生活にどのように関わっているのかを知る。 | | | |
| 後期 | 10 11 12 | B. 生物育成の技術 1-2 さまざまな生物育成の技術 3-1 これからの生物育成の技術 C. エネルギー変換の技術 1-1 生活や社会とエネルギー変換の技術 1-2 エネルギー資源の利用 1-3 電気の利用 1-4 運動の利用 第2回定期試験 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 用途に応じて品種改良が行われているなどの工夫に気付く。 身の周りのものが、先人の発明や工夫によって作り出されたものであることを知る。 エネルギーが目的によって、違うエネルギーに変換されていることを知る。 エネルギー変換の技術が生活や社会に果たしている役割が説明できる。 生物育成の技術～エネルギー変換の技術 | | | |
| 冬休み | | | | | | | | | |
| 後期 | 1 2 | C. エネルギー変換の技術 2 エネルギー変換の技術による問題解決 (製作品の構想と設計・製作実習) 防災用ライトを用いた防災教育 第3回定期試験 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 簡単な電気回路を理解する。 LEDライトを製作する。 災害時にライトが果たす役割を知る。 学習した技術のまとめ | | | |
| 春休み | | | | | | テスト・課題プリント・作品・授業に対する取り組み等で評価します。 | | | |

| 教科 | 英語 | 科目 | 英語, 英語T | 授業 時数 | 週5時間 (うち1時間は英語T) | 教材 | NEW CROWN English Series 1 | 種 別 | 中学 | |
|---------------|-------------|--|---------|----------|---|----|-------------------------------|--------|----|--|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組 | | | | | | | | | |
| 時期 | 項目 | | | 到達目標 | | | | | | |
| 前期 | 4月 | 入学前準備課題 Lesson 1 About Me 英語T: Self-introduction | | | アルファベットや身近な英単語に親しみながら正しい発音と書き方を習得する be動詞(am, are) と 一般動詞(1・2人称) の肯定文・否定文・疑問文を理解し、それらを使って自分の伝えたいことが表現でき、書けるようになる | | | | | |
| | 5月 | Lesson 2 English Camp 英語T: Lesson4 Countries, Weather Unit4. Getting Together Unit.6 Helping out | | | 助動詞can の肯定文・否定文・疑問文を使って、自分や友達ができること、できないことについて聞いたり話したりしてお互いの理解を深める 英語Tでは私(達)の～、彼(彼女)は～という表現を聞いたり読んだりして理解する。また、天気の見方や答え方など日常で使うトピックに触れる | | | | | |
| | 6月 | Lesson 3 Our New Friend 英語T: Lesson4 Farm Chores Unit1. Things to Eat 防災に関する学習 防災に関する授業を扱う | | | This is, What を使い、紹介したい外国語やものについて発表したり、町にある建物をたずねたり答えたりができる Who を使ったたずね方を学び、 him, her の使い方を理解する 英語Tでは頻度を表す英語を学びながら1日のルーティンを英語で伝えたり、 want を使った表現を使えるようになる | | | | | |
| | 7月 | [第1回定期試験] | | | [定期試験範囲] Lesson1～Lesson3 | | | | | |
| 夏休み | | 課題 | | | 既習内容の復習、予習 | | | | | |
| 前期 | 9月 | Lesson 4 My family, My hometown 英語T: Unit.3 People in Town | | | 3人称単数現在形 の肯定文・否定文・疑問文を理解し、それを含む本文を聞いたり読んだりして、内容をとらえる 英語Tでは3人称単数現在形やHow much...?値段の聞き方を学ぶ | | | | | |
| 後期 | 10月 | Lesson 5 School life in the USA 英語T: Unit.2 Around Town | | | 現在進行形 の肯定文・疑問文を使って、自分や誰かが今していることを伝えたり尋ねたりを表現できる 英語Tでは Where を使った場所の尋ね方と案内の仕方、現在進行形を学ぶ | | | | | |
| | 11月 | Lesson 6 Discover Japan 英語T: Unit. 7 Out and About 防災学習 ～防災に関する授業を扱う～ | | | 一般動詞の過去形 の肯定文・否定文・疑問文を理解し、本文の内容をとらえる また、過去形を使って今まで一番思い出に残っている出来事を書き、発表する 英語Tでは過去形が使われている会話表現を学ぶ | | | | | |
| | 12月 | [第2回定期試験] | | | [定期試験範囲] Lesson4～Lesson6 | | | | | |
| 冬休み | | 課題 | | | リスニング・英検対策 | | | | | |
| 後期 | 1月 | Lesson 7 Wheelchair Basketball 英語T: Unit. 5 Fun in the park | | | 車いすバスケットボールへの関心を持ち、 be動詞の過去形・過去進行形 が使われた文章を読んだり聞いたりして内容理解をする 英語Tでは 比較 の表現を使って身近なものを比べて伝えることができる | | | | | |
| | 2月 | Lesson 8 Green Festival 英語T: Unit. 8 Things We Use | | | will, be going to の未来を表す表現を読んだり聞いたり、相手に伝えることができる また、それらを使って自分がこれからすることをまとめた文章にできる力を身につける 英語Tでは、身の回りにあるものを There is, There are を使って表現する | | | | | |
| | 3月 | [第3回定期試験] | | | [定期試験範囲] Lesson7～Lesson8 | | | | | |
| 春休み | | 課題 | | | 中学1年生の総復習 | | | | | |

備考

外国語教育に期待されることの一つは、多様な価値観を持つ世界の様々な文化や、地球環境などの諸問題に自らを関係づける力をつけることです。ほとんどの生徒にとって、英語は初めて触れる外国語です。コミュニケーション能力が強く求められる現代において、“英語が使える”ことは当然のこととなりつつあります。聞く・話す・読む・書くの4つの技能の学び合いを通して、視野を広げ、同時に自分の考えや、自分たちの文化を外に発信していく力を養います。

【英語Tについて】

週1回の英語Tの授業は、英語ネイティブ講師と、日本人教員によるチームティーチングで行います。多様なトピックを題材に、フレーズを覚えるだけでなく実際に会話で使うことができる、また自分の意見や考え、質問を英語で伝えられるよう指導をしていきます。いろいろなアクティビティーを通して、語彙力の向上に努めます。英語Tの授業内で、プレゼンテーションを実施します。

【英語Lについて】

英語Lでは、学んだ知識や技能を使い、「聞く」、「読む」、「話す(やり取り)」、「話す(スピーチ)」、「書く」それぞれの力をバランスよく伸ばすことを目標とします。特に夏休みまでは、英語の音の正しい発音、聞き分けを重点的に指導します。夏休み後は、リスニング、ディクテーションへと発展させ、各種検定のリスニング対策も行います。英語Lの授業内で、リスニングテストを実施します。

【英語検定について】

英語検定は年3回実施されます。1年生は、第3回(1月)に学校で全員受験をします。第1回(6月)と第2回(10月)は任意受験です。

【授業で使う副教材】

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ・New Crown ワークブック | ・新中学問題集 |
| ・Everybody Up! 3 | ・ベーシックジーニアス英和辞典 |
| ・コーパス1800 | ・英検パスコース 4級 |

| | | | | | | | | | |
|---------------|-------------|---|-----|----------|--|----|-------------------------------|--------|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 英語L | 授業 時数 | 週2時間 | 教材 | NEW CROWN English Series 1 | 種 別 | 中学 |
| 学年 組 類型 | 中学校1年1組, 2組 | | | | | | | | |
| | 時期 | 項目 | | | 到達目標 | | | | |
| 前期 | 4月 | 英語音声訓練 Starter Classroom & Dailylife English Lesson 1 About Me GET PLUS1 どんな食べ物が好きですか | | | 英語の正しい発音の仕方を理解する。 教科書に併せて各種アクティビティを通して、「聞く」、「話す(発表・やり取り)」、「読む」、「書く」それぞれの力を鍛え、能動的に英語を使う力をつける。 What ~? を使って自分や相手の好きなものについて話す。 | | | | |
| | 5月 | Lesson 2 English Camp GET PLUS2 チョウが何匹見えますか 防災学習 | | | How many ~? を使って教室にあるもの、身近なものについていくつあるか話し、英語の数を聞き取り、理解する。 防災に関する授業を扱う | | | | |
| | 6月 | Lesson 3 Our New Friend Take Action! 商品の説明、ねえ、聞いて! | | | ・商品の説明を聞き取る。 ・会話の始め方、会話中の相槌を理解し話し、聞き手が必要な情報を聞き取る。 ・グリーティングカードを作る。 | | | | |
| | 7月 | Reading for information1 【第1回 リスニングテスト】 | | | | | | | |
| 夏 休 み | 8月 | 夏休み課題 リスニング教材 | | | 夏期休暇を利用し、まとまった量のリスニング練習継続的に行い、「聞く」力を伸ばす。 | | | | |
| 前期 | 9月 | Lesson 4 My Family, My hometown Take Action! 競技場のアナウンス、またあとでね GET PLUS3 どちらがほしいですか | | | 話し手が伝えたい情報を聞き取る。 会話の終わり方と会話中の相槌を理解し使ってみる。 Which ~? を使って自分や相手がほしいものについて話す。 | | | | |
| 後 期 | 10月 | Lesson 5 School Life in the USA Take Action! 映画の紹介、青いTシャツはいかがですか GET PLUS4 これはだれの鍵ですか | | | ・好きな映画の紹介文を書く。 ・How about ~? / I suggest ~. や I don't like ~ / It's too ~. を使って提案したり、好みを伝えたりする言い方を使って会話する。 "Whose ~?" を使って持ち主をたずねる文を理解し会話する。 ・道順を尋ねたり、説明したりする文を使って会話する。 ・観光マップやタウンガイドを作る。 ・グリーティングカードを作る。 | | | | |
| | 11月 | Lesson 6 Discover Japan Take Action! ボイスメッセージ、ABCケーキはどこですか。 Reading for information2 | | | | | | | |
| | 12月 | 【第2回 リスニングテスト】 | | | | | | | |
| 冬 休 み | 1月 | 冬期課題 リスニング教材 | | | 冬期休暇を利用し、まとまった量のリスニング練習継続的に行い、「聞く」力を伸ばす。 | | | | |
| 後 期 | 1月 | Lesson 7 Wheelchair Basketball Take Action! インタビュー、どんな漫画が好きなの? | | | ・偉人、好きな俳優、選手など人を紹介し、インタビュー(質問をする/情報を付け加える)する。 "You look ~." を使って相手の表情を見て話しかける文を理解し会話する。 ・天気予報に出てくる単語を理解して聞き取る。 ・相手に聞き直す文を理解し会話する。 "Can you ~?" を使って依頼した文を理解し会話する。 | | | | |
| | 2月 | GET PLUS5 うれしそうですね Lesson 8 Green Festival Take Action! 天気予報、もう一度言って GET PLUS6 ベッドを整えてくれませんか | | | | | | | |
| | 3月 | 【第3回 リスニングテスト】 | | | | | | | |

| 教科 | 道徳 | 科目 | 道徳 | 授業 時数 | | 週1時間 | | 教材 | 新しい道徳1 (東京書籍) | 種別 | 中学 | |
|---------------|------------|--|----|----------|--|------|------------------|--|------------------|----|----|--|
| 学年 組 類型 | 中学校1年1, 2組 | | | | | | | | | | | |
| | 時期 | 項目 | | | | | | 到達目標 | | | | |
| | 前期 | <p>※エゴグラム研修とエゴグラム診断・マイグロース(4月実施)</p> <p>・自分自身に関すること 自ら考え、責任を持つ/安全で健康な社会/自分の個性をのばす/希望と勇気、強い意志/真理を探究する</p> <p>・他の人との関わり 思いやり、感謝/礼儀/友情、信頼/認め合う心</p> <p>・集団や社会とのかかわり 法や決まり、権利と義務/差別や偏見のない公正・公平な態度/社会や公共の為に役立つ/働くことの尊さ/家族の幸せのために/集団の中の自分の役割/郷土のことを考える/わが国のことを考える/国際理解・国際貢献</p> <p>・生命や自然、崇高なものとの関わり</p> | | | | | | <p>・人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動する。</p> <p>・自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。</p> <p>・人間の尊重と生命の畏敬の念を具体的な生活の中に生かす。</p> <p>・国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造に努める。</p> <p>・社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会・国家の発展に貢献する主体性のある日本人としての自覚を持つ。</p> | | | | |
| | 夏休み | <p>かけがえのない生命/自然を守る/美しいもの、気高いもの、大いなるもの/よりよく生きる喜び</p> | | | | | | | | | | |
| | 前期 | <p>【グループコミュニケーション】 「あなたのために」は「自分のために」(思いやりの心を育てる)・ピクトグラム(想像力を育てる)・マナーについて考える(道徳心を育てる)・3年後の私からの手紙(目標思考力を育てる)</p> | | | | | | | | | | |
| | 後期 | <p>※エゴグラム診断・マイグロース(10月実施)</p> | | | | | | | | | | |
| | 冬休み | <p>幸福の3原則(価値観を明確にする)・大人になるのは損か得か(価値観を見直す)・自転車事故について考える(考える力を育てる)・災害時の避難対策(考える力を育てる)・勉強って何のため?(目標思考力を育てる)・夢を叶える(目標思考力を育てる)・今、地球を救うために何ができるか(考える力を育てる)・いじめられる人にも原因がある?(道徳教育)・SNSのトラブルを考えよう(考える力を育てる)</p> | | | | | | | | | | |
| | 後期 | | | | | | | | | | | |
| | 春休み | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | ※成績は学年末に文章で評価を記載 | | | | | |